

提出日 2025 年 3 月 17 日

海外留学報告書

【参加者A】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2025 年 2 月 15 日 ～ 2025 年 3 月 8 日（約3週間）					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	留学した理由は、学生生活の最後に学校のプログラムでどこか海外に行きたいと思ったからです。私はフィリピンとのハーフなので、留学するなら母国であるフィリピンが良いという気持ちが大きかったです。英語にもともと興味があり、自分自身の英語上達のためにも、留学に参加したいという気持ちが強くなりました。最初は個人で行くプログラムに参加するつもりでしたが、参加条件に満たなかったのでグループで行けるこのプログラムを勧められました。留学自体をもう諦めようかと思っていた時に、先生からの勧めで特別な機会をもらう事ができて良かったです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業自体は10時から始まり、4時まででした。休憩時間が12時から2時までと比較的長かったです。祝日は同じプログラムに参加している九州の方たちとの交流会や、ショーなどを見に行ったりと充実していました。担当の先生方もとても優しく、人前で発言する機会が多くあったように思います。私にとってとてもありがたい環境でした。生活面では、特に不自由なく暮らす事ができ、ドライヤーなどはなかったので現地調達でみんなで割り勘して購入しました。ランドリーも近くにあるので、みんなでまとめて出しに行っていました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	まず、この留学に参加をしてとても良かったと思っています。フィリピンの文化や、カルチャーショックなどについて事前に調べてはいましたが、やはり実際に体験すると驚くことばかりでした。でも3週間もいれば慣れます。新しい文化を理解することは簡単ではありませんが、「もうここはそのような文化なんだ」という暗示をかけると案外すぐ慣れることが出来ました。現地の方は、本当に心温かな方ばかりで、毎日毎日その人間性に癒されていました。私は英語があまり話せませんが、ある程度努力したので、現地の方や先生方の英語を聞き取れるようになったと思います。この留学を無駄にしないように、なるべく新しい単語を覚えたり、現地の方に声をかけることを恐れずに積極的に英語力の向上に取り組むことが出来たと思います。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	この留学を通じて、やはり英語が好きなんだと気づきました。英語は引き続き力を入れて頑張ろうと思います。このプログラムをきっかけに、どんな国に行ってもその土地その土地の文化を尊重出来るようになりたいです。フィリピンの食べ物はとても美味しいことに驚きました。日本人の口に合う料理がたくさんあって、毎日毎日飽きなかったです。安い上に、美味しいものをたくさん食べることが出来て幸せでした。また慣れない環境の中、大変なことも9人全員で乗り切ることが出来ました。それぞれ性格が違うので多少のトラブルもありましたが、お互いしっかりと話し合う事によりさらに関係値を高めることが出来ました。英語だけでなく、人との関係をより良く構築していく大切さやコミュニケーション能力、忍耐力など、学ぶことが多くありました。
5. 自由記述	本当にこのプログラムに参加して、良かったです。少し怖い気持ちがあっても、勇気を出してこのプログラムに参加するべきだと思います。新しい発見や学びがあると思いますし、自分自身を成長させられる素敵な機会だと思います。本当に素敵な夢のような3週間でした。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 3 月 17 日

海外留学報告書

【参加者B】

所属	経済	学部	経済経営	学科	2	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2025 年 2 月 15 日 ～ 2025 年 3 月 8 日（約3週間）					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学した理由は、外国の友達をたくさん作るためです。なぜたくさん友達を作りたいかと言うと、いろいろな国の文化を知りたいと思っているからです。そのため今回のフィリピン留学を希望しました。海外で英語力を鍛え日本での生活で使いたいと考えました。その目標に向かって、留学中はバディとよくしゃべったりバディの友達を紹介してもらったりして、コミュニティの話を広げていきました。その中で友達をたくさん作ることができました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地での活動内容としては、授業を受ける中で英語で劇をやったりプレゼンテーションを行いました。難しい単語などがよく出てきましたが、覚えるために夜、寮のロビーで勉強していました。生活面に関しては早起きして早めに寝る生活をしていました。また、食事に関しても、寮では食事が出ないので毎日外食をしていました。外食をする中で注文の仕方を身に付けたり、外国の方と接することで英語力をあげるとともに会話のスキルを学ぶことができました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	私は外国の方に話しかけることを留学の目標にしていました。元々英語を全く喋れなかったのですが、授業を通し英単語を覚えて少しずつ喋りかけることができるようになりました。留学の後半では、コンビニなどでわからないことがあれば店員さんに声をかけられるくらいには成長しました。新しく感じたり発見したことは、英語の発音に対してです。発音がほんの少し違うだけで伝わらないことを知りました。感覚としてはゆっくり喋るのではなく少しかっこつけると伝わるような気がしました。発音に気をつけることや人への話しかけ方などの新しい知識を、留学という実践的な学びの中で培うことができました。また、バディとの交友関係も築けたので、今後も交流していく中で継続的に英語を学んでいきたいと考えています。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今後留学で培った学びを大学で活かしたいと考えています。具体的には、ゼミや大学のイベントで一緒になる留学生の方と英語で喋ったりして友達を増やしたいと思っています。また、私のアルバイト先が古着屋ということもあり、外国の方が来られることもあるので普段喋るフランクな英語だけではなくフォーマルな英語も使い接客できるようにしたいです。留学中に学んだことをこれからも学び続けていき、さらに英語力をつけたいです。日本で生活する中でも継続して英語を勉強していこうと思いました。
5. 自由記述	人生で一番楽しく、学べた3週間でした。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 3 月 17 日

海外留学報告書

【参加者C】

所属	経済	学部	国際ビジネス観光学科	学科	2	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2025 年 2 月 15 日 ～ 2025 年 3 月 8 日（約3週間）					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学した理由は、学生のうちにできることをしたいという気持ちがあったからです。その時に短期間でも行けるこのフィリピン留学を見つけ、留学することを決意しました。元々英語を上達させたいと考えてはいましたが、なかなか何から始めたらよいのかが分からず行動できていませんでした。この留学に行く決意してからは、まず英語でコミュニケーションをいつ、どこでもできるようになりたいという目標を持ちました。将来必ず必要となる言語なので、今のうちから身に付けておきたい気持ちも強くなりました。そして自分に自信と勇気をつけることも一つの目標だったのだと今では思います。心の底では英語を学びたいけれど、まだ時間はあるから大丈夫だと言い聞かせて逃げたり、自分に甘い部分もありました。そんな自分が嫌だったこともあり、とりあえず行動しようと思い参加を決めました。今思い返すと様々な目的や目標がありました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	バディーやバディーの友達との交流が多く、休みの日には有名な場所へ連れて行ってくれたり、大学で開催されていたスポーツフェスティバルではバレーボール、水泳、バスケットボール、サッカーなど様々なスポーツの観戦をさせてもらいました。授業はスピーキング練習やグループでのプレゼンテーション、大学内にいる人に英語インタビュー、など自ら行動をする実践型のものが多い印象です。高校生と一緒にいる授業は、日本とフィリピンでの文化の違いを話し合うこともあり、お互いが違う文化について理解し合うなど貴重で楽しい内容がたくさんありました。生活面は、朝昼夜すべて外食でした。朝は食べない人もいたり、前日の夜にセブンイレブンやスーパーで買い出しをしている人もいました。私は大学内の食堂でパンを買って食べるが多かったです。お昼はバディーと一緒にすすめるお店へ連れて行ってもらったり、友達と食べたり、学内にある屋台、大学の外にある屋台でスムージーを買うなどしました。夜も日によってバディーと食べることもあり、時間がある日には留学の仲間と大きなモールへ行って次の日の朝食を買いながら、モール内にある飲食店で食べることも多くありました。
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	今回の留学では目標をすべて達成することができ、目標を上回ることもできました。授業では自ら率先して発言をする機会が多く、そしてだれもが発言しやすい環境でみんなが勉強熱心なので良い雰囲気なこともあり、発言することの恥じらいを捨て、間違ってもいいから答えてみようという気持ちになれました。そうすると自然と自分に自信ができました。はじめは英語を聞き取ることに精一杯で何もできませんでしたが、バディーと会っている時間や授業中はあえて翻訳機を使わずに英語で直接質問をするなど、自ら英語を発する機会、英語にふれる時間を増やすことも意識できるようになりました。授業中や、先生・バディーと会話をしているとき、わからない単語が多く、自分の英語のレベルが低くて悔しくなる時もありましたが、悔しくなってもそのレベルが急に上がることはありません。自分のレベルをしっかりと理解したうえで、留学中はとにかく分かったふりなどせず、分からないことは素直にわからないと言って質問をしていくことが本当に大事なことでと気づきました。変にプライドを持つのではなく、実際に聞いて学ぶことのほうが自分のためにもなり勉強になると感じました。バディーと会ってご飯を食べる時間に英語が分からず、会話をしたいのに分からないというのが一番悔しい部分ではありましたが、自分の英語力に気づくことができました。会話ができるようになりたいという気持ちで、毎日少しずつでも一人の時間ができた時や、時間が少しでも余っていたら寮で勉強をしたりすることで勉強の意欲も高まり、その積み重ねで少しずつ会話が弾むようになり、結果が目に見えてくるのがこんなに楽しく嬉しいものだと思えることができました。できないことばかりに目を向けがちでしたが、そのできないことをどれほど自分で理解をして受け止め、どう頑張るのかが大事なかわかりました。この留学の経験はとても価値のあるもので、英語力だけでなく私の思考も良いほうへと変わって、自信もついたので、留学に行くことを決意して本当に良かったと思います。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今後この留学で身につけた自信や、勉強に対する意欲、挑戦する勇気などを大学だけでなく生活をするうえで活かすことができる機会が多いと思うので逃さないようにしていきたいです。自分の今の英語力を理解しながらも、さらに上達させていくには何を中心に勉強していくべきなのか、順番を考えながらコツコツと学んでいこうと思います。留学中、空港や街中で海外の方々に声をかけて会話をし、そこでも分からない単語は意味を聞いたりすることがありました。今、日本にも海外の方々が増えているため、それをチャンスに変えて、自ら声をかけて英語の勉強をしていくことも心掛けて生活しようと思います。留学が終わった今、英語に触れる機会がなくなってしまったので、英語に触れられるような機会を探してこれからも挑戦します。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 3 月 17 日

海外留学報告書

【参加者D】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2025 年 2 月 15 日 ～ 2025 年 3 月 8 日（約3週間）					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学をした理由は、語学力の向上と自分の進路のためです。三週間では英語を完璧にすることは難しいので短い会話、現地の人がよく使う短い英語を習得するのを目標にしていました。また、将来、海外と関わる仕事をしたいと考えており、海外での生活、文化、習慣、価値観の違いを肌で直接感じ、自分の進路の選択肢を広げるためにも必要だと思い、今回参加をしました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	スピーキング、リスニング、ライティング、現地の学生と一緒に受ける授業があり、毎日しっかりと英語の授業を受けていました。先生も優しくわからないところも丁寧に教えてくれました。オールイングリッシュなので難しかったけれど授業はとても良く、三週間で自分の変化や成長を実感できるほどでした。生活面では日本とは違い物価も安く特に困ることもなく、充実した毎日を送っていました。食べ物もおいしいものがほとんどです。唯一困ったことは、金銭面です。現地のATMで下すことは可能なのですが、英語で全て行うこともあり、操作するのにもわからないことが多く、現地でお金を変えるのにもレートが悪くとても困りました。もう少し日本で多めにお金を変えて現地で困ることがないくらい持っていけばよかったと思いました。支払いはカードを使えるところもありますが、現金のみのところの方が多かったです。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	私は今回、三週間で簡単な英語を話せるようになること、海外生活をしっかり送ることを目標にしていたのですが、その目標を超えるぐらい英語も完璧ではないけれど上達し話せるようになり、生活もしっかり送ることができ、人間としても成長した部分も多くとても満足しています。特に私が短い期間で成長を感じたことは、何事にも挑戦する姿勢です。今までは、まず初めに何かをするとき必ず否定から入り、決めつけをして挑戦をしなかったことがほとんどでした。しかし、この期間中、たくさんのことに挑戦したおかげで今では挑戦することへの抵抗がなくなりました。失敗することの方が多かったですが、挑戦している自分はとても生き生きしていたと思います。日本人は挑戦することを恐れる人が多いですが、海外の人は挑戦することを当たり前にしていました。そのおかげかもしれませんが、これから同じように何事にも挑戦してたくさん成長していきたいと思いました。また、何かに挑戦しようとしている人の背中を押せる人にもなりたいと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私は将来海外と関わる仕事をしたいと考えています。今回実際に海外で三週間生活して海外がどういった場所なのか、海外の人がどういった人なのかを知ることができ、これから進路を決めていく上で足りないところも理解できたので、この留学で感じたことを忘れることなく自分の将来の進路選択に活かして行きたいと思います。
5. 自由記述	一緒に行ったメンバー、先生、現地の方たちにもとても感謝しています。とても楽しい充実した最高の三週間でした。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 3 月 17 日

海外留学報告書

【参加者E】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2025 年 2 月 15 日 ～ 2025 年 3 月 8 日（約3週間）					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	この留学プログラムにはバディ制度があり、授業以外でも英語を話す機会が増え英語力向上につながりバディとの素敵な出会いがあると思ったからです。またフィリピンは物価が安く他の国に比べて留学しやすいと考えました。フィリピンでの英語学習、留学はとても良いと聞くことが多かったこともあり、今回のフィリピン・英語研修に参加しました。メインはもちろん英語学習ですが、せっかく行くのでフィリピンの生活や食事など日本と私が今まで行った国と何が違うのかなど、新しい発見もたくさん出来たらいいなと思いました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業は毎日同じ時間割でした。もちろん全て英語でスピーキング、リーディング、リスニングなど大まかに分かれて一時間の授業を受けました。週に二回、グループ分けされたそれぞれのグループで現地の高校生と授業を受ける時間がありました。朝の10時に一限が始まり14時まででエコマー時間で進みました。宿泊は寮で男子は二人部屋、女子は三人と四人部屋に分かれ生活しました。食事は各自で用意しないといけないのでお昼はよく大学の前にある屋台かコンビニで買って食べていました。夜はバディと過ごすことが多かったのでおすすめのお店やフィリピン料理に挑戦しました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	今回のフィリピン・英語研修にはバディ制度がありましたが、寮に戻ると日本人しかいないこともあり英語より日本語を話してしまうことが反省する点でした。日本人同士でもその日に学習したことやバディに教わった英文などを積極的に寮の中で使うべきだったなと思います。ただ授業や放課後などはほとんどが英語だったことと、わからないことをすぐにバディに聞くことができたので、私の中ではリスニング力が伸びたんじゃないかなと思います。新しく発見したのは、フィリピン人はとても優しい方が多いことです。英語で話しかけるときの一生懸命聞いてヒントをくれたりと、熱心にサポートしてもらいました。フィリピンの人は少し不機嫌に見えることが多かったけれど、ほとんどの方が話しかけたりお礼を言うと照れた感じでニコツとして日本人？と話を返してくれました。ですから、次に行くことがあればもっと積極的に話しかけていけたらいいなと思います。また、物価が安いので一食を約300円で済ませることができました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今後は個人留学や長期留学に挑戦したいと考えているので、もっと自信を持てるように、今回の留学で学んだ挑戦すること、積極的に英語を話すことを続けていきたいです。積極的に英語を話すことは日本でもできることなので、大学内で留学生との交流や今よく使われているアプリなども利用し、もっと日本にいても英語に触れる環境を自ら作っていかうと思いました。バディに教えてもらった自然な会話ももっと意識していこうと思います。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 3 月 17 日

海外留学報告書

【参加者F】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2025 年 2 月 15 日 ～ 2025 年 3 月 8 日（約3週間）					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	留学をした理由は、高校生の時から海外に興味があったのと、英語を使えるようになりたかったからです。留学プログラムが充実していることからこの神戸国際大学を選んだほど、ずっと留学したいと思っていました。また、英語が苦手でも気軽に参加できたので、フィリピン・英語研修を選びました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	フィリピンでの三週間の英語研修では、授業と実践的な活動を通じて英語力を磨きました。平日は授業で主にスピーキング力とライティング力を強化し、文法や発音も丁寧に指導してもらいました。放課後や週末にはbuddyと一緒にDumagueteで有名な場所や食べ物を紹介してもらって文化を学んだり、たくさん会話をしてリスニング力と会話を強化しました。学びと異文化理解が深まった研修でした。フィリピンに行く前は食べ物が1番想像もつかなくてすごく不安でしたが、美味しい食べ物が多く毎日たくさん食べました。Buddyのオススメの料理屋さんに行って食べたことのない食べ物に挑戦したり、有名な場所に連れて行ってってもらって、毎日が楽しかったです。トイレやお風呂など全然慣れないこともあるけどなんとかかなりました。私のBuddyはとてもフレンドリーなので友達を紹介してくれて、本当に大勢の友達ができました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	このフィリピン英語研修を通して、目標としていた「英語で積極的にコミュニケーションを取る力」を大きく伸ばすことができました。授業やbuddyとの会話で、自分の意見を伝える力やリスニング力が向上し、留学に行く前より自信を持って英語を話せるようになりました。話す力はまだまだですが、自分でも分かるくらいリスニング力が上がりました！また、現地の人々や、シリマン大学の学生との交流を通じて文化の違いを肌で感じ、多様な価値観を学ぶことができました。特に印象的だったのは、言葉の壁を越えて心が通じ合う瞬間の喜びです。さらに、異文化環境の中で生活することで、自立心や適応力が鍛えられました。この経験は語学力だけでなく、自分自身の成長にも大きく貢献したと感じています。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	このフィリピン・英語研修で培った英語力やコミュニケーション力、異文化理解を今後のキャリアや人間関係に活かしたいと考えています。グローバルな視点を持ちながら、英語を使って積極的にコミュニケーションを図り、多様な価値観を尊重する姿勢を大切にします。また、多様な価値観を受け入れながら、自信を持って英語でコミュニケーションを取り、国際的な場でも積極的に挑戦していきます。
5. 自由記述	もう一度このプログラムに参加したいです。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 3 月 10 日

海外留学報告書

【参加者G】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2025 年 2 月 15 日 ～ 2025 年 3 月 8 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私がこの留学をした理由は、多文化を知り英語に触れあいたかったからだ。私は高校の時に初めて海外に行った。その時に初めて異文化を感じ、日本との違いをたくさん勉強した。それをきっかけに大学で留学しようと決めていた。このプログラムはバディ制度があり、それが魅力的だと思い参加した。この留学での目的・目標はとにかくたくさん英語と触れ合うことだった。英語しか通じない場所で、英語をたくさん聞きたくさん話すことで、英語を上達させることができ、勉強意欲を引き起こせると思ったからだ。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	授業は毎日3・4時間あり、すべて英語で行われた。授業はリーディング・リスニング・ライティング・スピーキングすべてを学ぶことができた。スピーキングでは、間違えた文法を使っていたら直してくれた。現地の大学生と一緒に受ける授業もあり、それは大変だったがとても楽しかった。フィリピンでの生活は慣れるまではとても大変だった。一番大変だったのはトイレだ。基本トイレにトイレトペーパーがなく、自分で持ち込み流さずにゴミ箱に捨てていた。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	自分の目標は達成できたと思う。毎日たくさんの人と英語で話して、フィリピンの文化を学ぶことができた。最初はリスニングができなくて答えるのにも苦戦していたけれど、毎日聞いていくうちに少しずつ慣れて話すのが楽しくなった。新しく発見したことは、フィリピン人の人間性だ。フィリピンはフレンドリーな人が多い。よく話しかけてくれて、すぐ仲良くなれる。フィリピンのいいところだと思う。フィリピンは交通事情が日本とは全然違っていい。移動には主にベディカブというタクシーを利用した。そしてバイクが多い。ドゥマゲッティは基本的に信号がなく、横断歩道を渡るのにはとても勇気がある。食べ物は肉が多く野菜は少なかった。物価が安いのでついつい買い物をしてしまう。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学で前より一層異文化に興味を持つことができ、英語を学びたい意欲が増した。フィリピンだけでなく海外にはその国独自の文化があり、みんなそれを大切にしていた。そして自分の国の文化をよく理解していた。私は、日本の文化をある程度理解しているが、説明できるほどではないと思う。なので私も自分の国をもっと理解して愛したいと思う。今回の留学で英語力が伸びたと思うので、これからも英語の勉強を続けてもっと向上していきたいと思う。
5. 自由記述	I love Philippines!!!

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 3 月 17 日

海外留学報告書

【参加者H】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2025 年 2 月 15 日 ～ 2025 年 3 月 8 日（約3週間）					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	英語に深く触れ、英語でのコミュニケーション力を高めることができる、日常的に英語を使用する環境で生活することで、実践的な英語力を身につけることができるのではと考えました。また、英語力やスキルを向上させることで、将来のキャリアに役立てられるのではないかと考えました。さらに、異文化に触れることで、人生の視野を広げ、グローバルな視点を持つことができるのではないかと思います今回の研修に参加しました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	平日の月曜日から金曜日は大学で英語の授業を受けます。授業時間は60分と短くグループ活動やペア活動、プレゼンテーションが大半であり、授業内容はコミュニケーションに重点を置いていました。放課後はバディーと過ごすことがほとんどでした。生活面では、日本と比べて物価が安いので食べ物や物も比較的安かったです。暑さも慣れてしまえば過ごしやすかったです。部屋も涼しく、勉強出来る場所もありました。ただ、シャワーの水圧が弱く、シャワー室は使えない場所もありました。また、コンセントの差し口が2つしかなく延長コードは必須です。食事は外食がほとんどです。野菜は3週間ほぼ取れませんでした。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	今回の留学で自分の目標は達成できました。初めの頃は日本語を英語で直訳し、頭の中で完璧な文を作ってから伝えようとしてしまい、会話が続かないことが多くありましたが、1週間経つ頃には、英語でのコミュニケーションのコツを掴むことができ、会話を続けられるようになりました。特にこの3週間、英語表現を英語で理解することを意識しました。すると、頭の中で日本語に翻訳する時間が減り、コミュニケーションのテンポをあげることが出来ました。日常生活では、街中に信号機がないことや、人が集まる場所には必ず警備員がいることに驚きました。また、大学生の多くはアルバイトをしていませんでした。さらに、チキンが多くその割には野菜がほとんどありませんでした。バディーと現地の言葉について話していると、日本語と似ているものもありすごく面白さを感じました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学経験は今後の人生やキャリアにとって貴重なものになると思います。自分自身、将来は海外で働くことを目標としているので、今回の留学での「語学力の向上」や「異文化理解とそれに対する適応力」も大きく活かせると思います。そして、フィリピンで生活した際に身につけることができた「柔軟に対応する力」も今後の海外での生活だけではなく普段の生活にも活かしていきたいと思っています。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 3 月 17 日

海外留学報告書

【参加者1】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	フィリピン・英語研修					
留学期間	西暦 2025 年 2 月 15 日 ～ 2025 年 3 月 8 日（約3週間）					
留学先 (国・地域)	フィリピン	留学先大学名	シリマン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私がこのフィリピン英語研修に参加した目的は、英語を使う環境で生活をして、自分の今の英語の実力とコミュニケーション力を確かめた上で、さらにレベルを上げたかったからです。また、研修を通して言語だけでなく、現地の文化や雰囲気を経験してみたいと思ったからです。そして、この研修は留学経験なしでも参加出来るプログラムになっており、先生が随行してくださることや、滞在先が寮であることが安心材料となり参加することを決めました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地ではバディーが生活面から学習面までとても手厚いサポートをしてくれたのが最も印象的です。授業は、リスニング、リーディング、スピーキング、会話など、それぞれの分野に特化されていました。どの先生もとても親しみやすく、優しいので、積極的に学ぶことが出来ました。そして、放課後はほとんど毎日バディーと過ごしました。ペディキャブに乗ってショッピングに行ったり、夕飯と一緒に食べながらお話ししたり、ビリヤードやカラオケなどのアクティビティを楽しんだりしました。バディーは、留学生活で困っていることや大変なことがないか心配してくれたり、宿題が出ると必ず手伝ってくれたりして、本当にかけがえのない存在でした。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	3週間、英語を主な言語とする環境で生活をして、耳が英語に慣れてきたことでリスニング力がとても向上したと感じます。一方で、スピーキングの方は、自分の気持ちを英語で伝えることが難しいこともよくありましたが、なるべく翻訳機能に頼らず、自分の知っている単語や簡単な表現で伝えてみると、相手に理解してもらえることも多々あったので、これから語彙力をどんどん増やして、レベルアップしたいと思いました。次に、感じたこととして、現地の環境が想像以上に良くて、自分には合っていたと思います。渡航前は、治安面や衛生面での不安がありましたが、実際に生活してみて、治安は特に問題なく安全に過ごすことができました。また、食事の面でも口に合うか心配でしたが、どれも美味しすぎて食べすぎてしまったくらいです。しかし、衛生面では少し苦勞しました。トイレにトイレトペーパーが備え付けられていないことで、常に持ち歩かなければならないことが大変でした。寮のシャワーは、水圧が弱かったり熱湯が冷水しか出ない場所があったりもしましたが、3週間だったのでなんとか乗り切ることができました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	このプログラムを通して、言葉の壁があっても積極的にコミュニケーションをとろうと努力することの大切さを学びました。また、留学することや海外に行くことは、自分の知らない世界を知れる貴重な機会だと感じました。今回の留学を経て、もっと英語を話せるようになりたいと思ったし、外国人とコミュニケーションを取ることの楽しさを肌で感じる事ができたので、次はより長期間の交換留学などに挑戦したいと考えています。そして、自分の英語の能力によって将来の選択肢の幅も広がってくると思うので、英語の学習を続けていきたいと思っています。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

**海外留学プログラム／グローバルキャンパス（GC）体験プログラム
参加者へのアンケート**

プログラム名（ ） 学番（ ） 氏名（ ）

以下の各項目それぞれについて、

1. 全くあてはまらない
2. あまりあてはまらない
3. どちらでもない
4. だいたいあてはまる
5. よくあてはまる

のいずれかを選んで、（ ）の中に数字で答えて下さい。

※3を選んだ場合、その理由を（ ）外に簡潔に記入して下さい。

1. あなたが学習しようとしている言語の能力についてお伺いします。

- 学習する言語の全体的なコミュニケーション能力に自信がある。 ()
- 特にリスニングの（聞く）能力に自信がある。 ()
- 特にスピーキングの（話す）能力に自信がある。 ()
- 特にライティングの（書く）能力に自信がある。 ()
- 特にリーディングの（読む）能力に自信がある。 ()

2. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができています。 ()
- 海外留学プログラム／GC 体験プログラムの目的を理解している。 ()
- グローバルシーンにおいて実践的に学習中の言語を使うことができる。 ()
- ライティング（文書作成、理論的思考）の基本を身につけている。 ()
- 学習中の言語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。 ()
- グローバルシーンにおける対人関係（リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む）を構築することができる。 ()
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。 ()
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。 ()
- これからの就職活動について自信がある。 ()
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。 ()

3. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。 ()
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。 ()
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。 ()
- 自国文化について相手に伝えることができる。 ()
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。 ()

4. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。

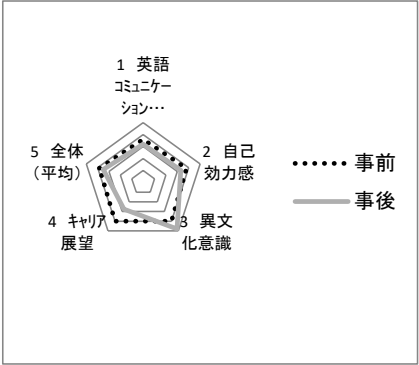
- 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。 ()
- 自分が就きたい仕事が決まっている。 ()
- 自分が将来就きたい仕事のために、どのような能力が必要かを理解している。 ()
- 国際的な仕事に関心を持っている。 ()

2024年度後期 フィリピン・英語研修 参加前後における意識調査アンケート結果

対象者:9名

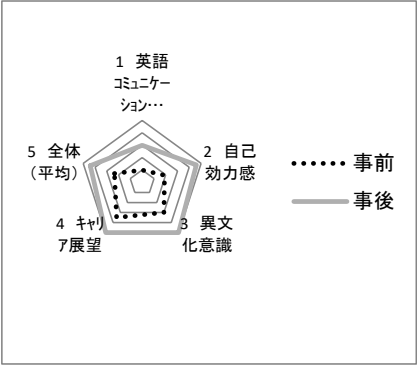
【参加者A】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.6	3.2
2 自己効力感	3.8	3.3
3 異文化意識	4.0	4.8
4 キャリア展望	4.0	2.8
5 全体(平均)	3.9	3.5



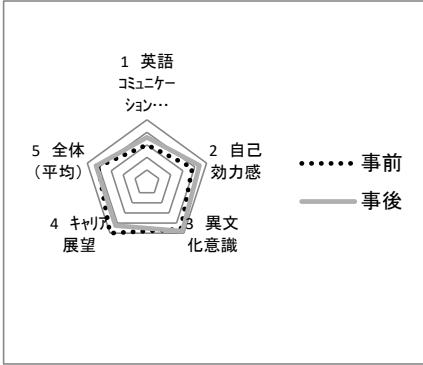
【参加者B】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.0	3.0
2 自己効力感	1.9	4.6
3 異文化意識	3.0	5.0
4 キャリア展望	3.5	5.0
5 全体(平均)	2.4	4.4



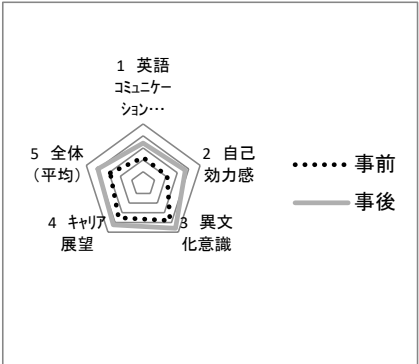
【参加者C】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.0	3.6
2 自己効力感	3.8	4.4
3 異文化意識	4.6	4.8
4 キャリア展望	5.0	4.3
5 全体(平均)	4.1	4.3



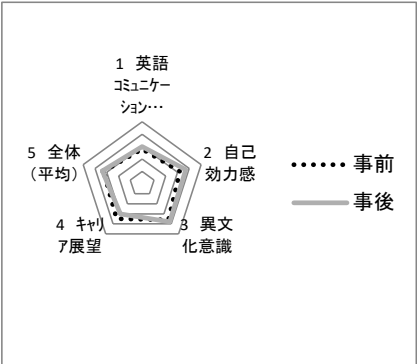
【参加者D】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.2	3.4
2 自己効力感	2.1	3.7
3 異文化意識	3.8	4.6
4 キャリア展望	3.5	4.3
5 全体(平均)	2.9	4.0



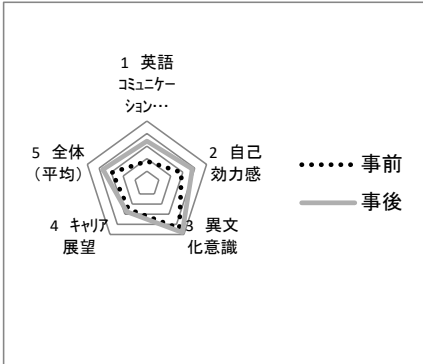
【参加者E】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.8	3.0
2 自己効力感	3.2	3.7
3 異文化意識	3.6	3.8
4 キャリア展望	3.5	3.0
5 全体(平均)	3.3	3.4



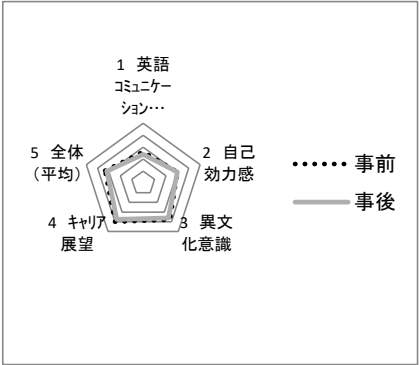
【参加者F】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	1.8	3.4
2 自己効力感	2.9	3.8
3 異文化意識	4.4	4.8
4 キャリア展望	2.5	2.8
5 全体(平均)	2.9	3.7



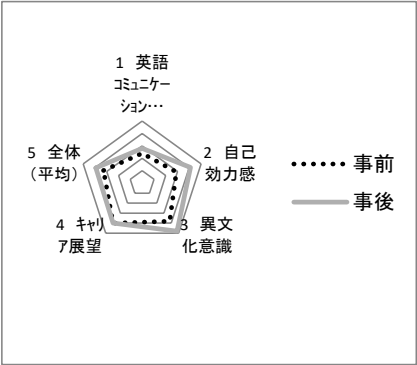
【参加者G】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.6	2.4
2 自己効力感	3.0	3.0
3 異文化意識	3.8	3.6
4 キャリア展望	4.0	3.8
5 全体(平均)	3.4	3.2



【参加者H】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.4	2.8
2 自己効力感	2.9	4.1
3 異文化意識	3.8	4.8
4 キャリア展望	4.0	4.0
5 全体(平均)	3.3	3.9



【参加者I】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.0	3.4
2 自己効力感	3.7	4.0
3 異文化意識	4.4	4.4
4 キャリア展望	4.3	3.8
5 全体(平均)	3.8	3.9

